

目標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

8月号／2012年8月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

7月18日(水)

7月通常例会

○会場/いわき建設会館

テーマ 「福島県としての福島といわきの復興について」

講 師 福島県商工労働部長 伊東 正晃氏



【福島県商工労働部長 伊東 正晃氏の講演】

こんばんは。県よりいわき市に出向し今年の3月まで、いわき市にお世話になりました。あの震災をとおして初めて“公務員のあり方”を私達公務員一人一人が感じたときではないでしょうか。今は福島県に戻りましたが、今日は『復興にむけた取り組みについて』お話しをしたいと思います。

1 震災の影響等

震災後、企業の生産が大きく落ち込み、また、避難指示等による事業休止に伴い失業者が急増。さらに、風評被害により、県産品の販売や観光客の入込みが激減するなど、甚大な影響を受けました。

鉱工業生産指数は、平成23年が59.5で過去最悪、県制度資金の融資実績は、リーマンショック時の約6倍。

2 中小企業復旧・復興支援策

震災以降、県内産業の復旧を図るため、被災企業の事業再開を支援する補助事業や県制度資金による資金繰り支援など、県内中小企業の事業再開・継続を支援しています。

○施設・設備等の復旧支援

(1)中小企業等復旧・復興支援事業

平成23年度交付決定等件数 いわき470件 14億円

(2)中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業

◆ みなさんへハウズキが贈られました。
誕生日プレゼント



左から寺主君男代表幹事、芳賀潔さん(7月21日生)、松崎聰一郎さん(7月21日生)、平澤智恵さん(7月4日生)、佐藤光代さん(7月18日生)

平成23年度認定件数 いわき355社 163億円

○資金繰りの支援

(1) 災害対応の制度資金 融資実績 いわき1,794件

(2) 二重債務問題への対応 相談件数 いわき61件

○雇用支援

(1)緊急雇用創出事業 平成23年度雇用創出人数17,975人

(2)ふくしま産業復興雇用支援事業 いわき 33件 202人

3-1 福島県復興計画第1次

平成23年12月に「福島県復興計画〔第1次〕」を策定し、これに基づき、引き続き県内中小企業等の復興を支援するとともに、再生可能エネルギーや医療関連産業などの集積・育成を図り、安定的な雇用を創出をする。

3-2 福島県復興計画第1次に基づく重点プロジェクト

中小企業等復興プロジェクト、再生可能エネルギー推進プロジェクト、医療関連産業集積プロジェクト、ふくしまの観光交流プロジェクト

3-3 中小企業等復興プロジェクト

引き続き県内中小企業等の復興を支援、復興特区に

おける税制の優遇措置を活用しながら、県内企業の新設・増設を図り、安定的な費用を創出をする。

①展示会等出展支援事業 平成23年交付決定等件数59件 数59件(いわき6件)

②中小企業等国際化支援事業(海外の展示会の出展経費の助成)

③ふくしま産業応援ファンド事業、農商工連携ファンド事業

④ふくしま産業復興企業立地補助金

3-4-1 再生可能エネルギー推進プロジェクト

再生可能エネルギー関連産業集積推進協議会

→再生可能エネルギーの一大産業集積地ふくしまの形成

3-4-2 再生可能エネルギー推進プロジェクト

→浮体式洋上ウインドファーム実証研究

3-5 医療関連産業集積プロジェクト

3-6 ふくしまの観光交流プロジェクト

4 復興特区、福島復興再生特別措置法

等について話された。講演後、会員の皆さんから活発な質問がありました。

● 研修委員会報告

先進地視察研修旅行

シンガポール マリーナ地区港湾施設・カジノ視察

シンガポールは1965年にマレーシアから独立、日本の淡路島ほどの面積に多種多様な民族言語・宗教が共存する都市国家として歩み出しました。アジアと欧州、中東、オーストラリアを結ぶ地の利を生かした中継貿易港、また近年はアジアの金融マーケットとして独自の地位を確立。現在は、多角的自由貿易体制の維持・強化を基本方針とします。

今回は、震災復興に向けての統合リゾート開発について、シンガポール日本大使館にて、在シンガポール日本大使館 工学博士 沖本 憲司様：早渕様「シンガポールにおける総合観光開発の現状、カジノの普及による治安上の問題」について 詳細にお話を伺い、会員からの様々な質問にも明確に答えて下さいました。またP S Aシンガポールにては、「自由貿易港の仕組みとその経済効果」についてお話を伺い、実際にシンガポール港にて設備施設・IT化の実態などの視察をしました。

ガントリークレーンが190基以上も連なり、コンテナが積まれ大型貨物船が見える光景に会員一同より感嘆の声が上がりました。25秒以内に貨物検査が済むゲートにては、時計の秒数をカウントし、あまりの速さに驚きました。寺主代表幹事、大和田常任幹事のコーディネートにより大変内容の充実した研修となりました。研修目的である2か所の視察が済み、3日目は、市内観光。セントーサ島にて大きなマーライオンを見上げ集合写真(本来のマーライオンは改修中のため緑の檻の中でした)カジノで実践研修、様々な状況がありました。大変参考になる研修でした。



7月グループ会報告

経済特区研究グループ会

■日 時 7月26日(木曜日)18:30~

■場 所 建設会館

1. 講師 復興丁福島復興局いわき支所
支所長武藤孝雄様 事務官 柴田知和様
2. テーマ 「復興の現状と取組」「福島復興再生基本方針について」
3. 内容
 - 1) 復興の現状と取組について主なポイント説明と解説
 - ① 東日本大震災の概要
 - ② 避難者・仮設住宅の状況(県内から63千人kが県外へ避難)
 - ③ 産業の復興に向けた取り組み(グループ補助金、仮設工場等の整備実績)
 - ④ 雇用確保に向けた取り組み
 - ⑤ 福島県の状況と課題(帰還支援に当たっての課題)
 - ⑥ 復興特区制度
 - ⑦ 交付金 期間事業
 - ⑧ 復興交付金(いわきに240億の交付金)
 - ⑨ 復興推進計画の認定状況
 - ⑩ 課税特例の指定状況
 - ・税制優遇の具体的な内容や不明点等について活発な意見や質問があった。
 - 2) 福島復興再生基本方針について
 特にいわきに関わるポイントについて確認を行った。
 - ① 道路、港湾、海岸その他の公共施設の整備(常磐道、常磐線、6号線、小名浜港等)
 - ② 復興特区法の特例について(復興推進計画を市町村で策定可能)
 - 3) 全体を通して
 今回の内容は参加者の事業運営に直接関わる内容の説明であることから説明内容の具体的な質問や確認が多く参加者からあり有意義な内容であった。
 また、講師のお話もわかり易く有意義な内容であった。

まちづくり観光グループ会

■日 時 7月24日(火曜日)18:30~

■場 所 建設会館5階

美原先生の勉強会、シンガポール視察を終え、いわき経済同友会としての意見交換会を開催。全会員に呼びかけ、寺主代表、大和田常任幹事にも出席していただき、出席者全員の意見を聞くことができました。ポイントは・日本各地でカジノ誘致の声が挙がっている。国の認可も予測である。このことを踏まえて今後の議論を進め

る必要がある。

- ・カジノありきではなく、いわき市の将来像を総合的に描き、その中の重要施設の一つがカジノ。どのようなカジノをイメージすべきかも具体的に描いていく。
- ・他団体との連携も視野に今後の活動計画を策定し、議論のみで終わらないようにする。
- ・しっかりと現実を踏まえ、地に足をつけ、慎重かつスピーディに進めるべき。



スポーツ交流グループ会

■日 時 7月25日(水曜日) 19:00~

■場 所 東京ドーム

いわきの地を離れ、東京ドームにて『読売ジャイアンツ vs 横浜DeNAベイスターズ』の試合を観戦した。

試合結果は、巨人が一発攻勢で3連勝。先発沢村は2失点完投で今季8勝目。DeNAは球団初の4連勝とはならなかった。両チーム合わせてホームランが4本も飛び出す華やかな試合でプロの試合を満喫してきた。

当日はサラリーマン感謝デーと称し、試合開始時間を7時に遅らせたり、生ビールが全品半額(400円)であったりと、顧客サービス満点の経験もさせてもらった。

時間の都合もあり、ドーム内で試合を観戦しながらおいしいビールで会員相互の親睦を深めた。

資質向上グループ会

■日 時 7月28日(土曜日)

■場 所 会津若松市方面

早朝より蒸し暑い中、5名にて予定のコースを塙本氏・吉田の車両にて出発。

- 1 鶴ヶ城の西側にある会津藩校日新館に到着すると、地元の小中高校生くらいの若者が声高らかに元気に薙刀の練習をしていた。礼儀の有る練習風景でした。
- 2 旧滝沢本陣は、参勤交代や領内巡視の際の殿様の休憩所。戊辰戦争では藩主松平容保が指揮を取り、白虎隊も出陣した所で、弾や刀傷の跡が沢山残っていました。
- 3 市内七日町の「渋川問屋」にて昼食。ここは明治時代、会津一の海産物問屋の店舗や屋敷、商品蔵などそつくり利用した本格的な郷土料理店で、昔ながらの町方料理を頂きました。
- 4 会津と言えば、日本酒です。「会津酒造歴史館」は宮泉銘醸のすぐ隣。美味しい日本酒を試飲して大満足と大不満足のメンバー(自宅で飲みました。)です。
- 5 御菴園は殿様の別荘として使われ、会津藩二代藩主正

経が薬草を栽培したところから、この名前が付けられた。ここで端麗な景色を楽しみながら冷たい抹茶を頂きホット一息。

6 会津県立博物館は、タイムトンネルを抜けたら、そこは原始のふくしまがあり、さまざまな過去の記録を確かめられる所、今回は、「恐竜時代のふくしま」の企画展を見学する。

7 白虎隊十九士のお墓に参拝する。白虎隊は戊辰戦争で戦った16歳～17歳の少年たちで飯盛山の中腹にあり、火に包まれた城下を望みながら命を散らした所です。

8 会津さざえ堂は、1796年飯盛山に建立された、高さ16.5m、六角三層のお堂です。正式名称は「円通三匝堂」(えんつうさんそうどう)といいます。当時飯盛山には正宗寺(しょうそうじ)というお寺があり、その住職であった僧郁堂(いくどう)の考案した建物で、国の重要文化財に指定されています。

9 無事帰平する。



いわきブランド研究会

■ 日 時 7月19日(月曜日)12:00～

■ 場 所 いわき市中央卸売市場2階料理教室

第2回カジキ料理コンテストを開催しました。
参加者は、一般2組、プロ6組の計8組が最終審査に臨

み、塩釜産のクロカワカジキを素材に手際よく調理しました。

審査委員長に、いわき商工会議所会頭小野栄重氏、委員には市内の著名人9名が味や素材の活かし方、栄養価、見た目、創造性などを基準に評価しました。

グランプリ賞には、グランパルティいわきのシェフ齊藤信浩さんの「スマーキーなカジキの香草パン粉焼き」が選ばれました。

また各賞は次の通りです。

【一般の部】

審査員特別賞

福島県磐城農業高等学校

ヘルシーケッキング省

古河 智子

【プロの部】

女性目線では一番でした賞 レストランキタオ 北尾 博水

ベストグルメ賞 ワンノートカフェ 斎藤 千秋

ベストルッキング賞 マイトクジ 高木 徳二

ベストバランス賞 レストラン銀の糸 富樫 雅人

ナイスアイデア賞 海鮮レストランいちはし 坂本 尚之

以上の皆様が、各賞に選ばれました。

今後は、市内のレストランなどで、メニューに加えてもらい、グルメマップを作成し市民や観光客に美味しいカジキ料理を紹介していきたい。併せていわき潮目の海の復活と魚食普及をも願って行きたい。



新入会員紹介

皆様宜しくお願いします



さとう 淳

いわきワシントンホテル椿山荘 総支配人
業種／ホテル業
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字一町目1番地



ゆき 幸 英治

東京海上日動火災保険(株) 支社長
業種／損害保険・生命保険業
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字大町10-4
いわき東京海上日動ビル7F



ばば 学

(株)NTT東日本-福島 いわき支店長
業種／通信業
会社所在地 〒970-8511
いわき市平字堂根町3-2



わたなべ 久弥

常陽銀行平支店 支店長
業種／金融業
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字二町目37-1

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長／阿部晴康・小野英典・鈴木清友・
竹内康照
委員／山崎勇一郎